

# I 令和5年(2023年)度 事業報告

## 1. 事業活動の概要

本財団は、優秀な人材の育成を図り、学問の研究等を奨励し、社会の発展と福祉に寄与することを目的として、全国の証券会社等関係機関からのご寄附により、1973年（昭和48）7月1日に文部大臣の許可を受けて設立され、2011年9月16日より公益財団法人に移行し、現在に至っています。

本財団は、1973年（昭和48年）7月の設立以後、本年7月に創立50周年を迎えました。

### （1）奨学事業

将来社会の各分野において指導的役割を担う人材を育成するとの趣旨により、大学生・大学院生への奨学事業を行っており、設立以来の奨学生修了者は、2024年3月末日現在3,829名になっています。

今年度は、新規に58名を採用し、学年進行者105名と合わせて163名に対し、通常の奨学金92,560千円を給与しました。このほかに、長引く物価高騰による奨学生の窮状に鑑み、緊急奨学生支援を3月1日に一律30千円、総額4,680千円を給与しました。

また、10月に2023年度奨学生懇談会を兼ねた「創立50周年記念式典（2023年度奨学生懇談会）」を開催しました。

その他、7月に奨学金授与式、3月に奨学生修了式を開催し、3月に奨学生推薦大学連絡会をオンラインにより開催しました。

### （2）研究調査助成事業

高い水準の研究調査を盛んにするとの趣旨により、社会科学の各分野の研究調査を対象に助成事業を行っています。

今年度、研究調査助成は8件に対し7,810千円を給付し、研究出版助成は10件に対し10,000千円を給付しました。また、11月に研究調査助成金・研究出版助成金贈呈式を開催しました。

### (3) 証券奨学同友会支援事業

本事業は、奨学生修了者で組織する証券奨学同友会（以下「同友会」という）が行う活動を支援するものです。

今年度の総会と懇親会は開催を見送りました。3月に同友会関東地区幹事の編集により発刊された同友会報第49号に係る編集業務及び同友会員はじめ関係者への配付業務を支援しました。

### (4) その他（財団創立50周年記念事業）

本年度、創立50周年を迎えたことを記念し、財団の事業活動への理解を深めていただくことを目的として、「日本証券奨学財団50年史」を発行しました。また、前述のとおり「創立50周年記念式典（2023年度奨学生懇談会）」を開催しました。

## 2. 事業活動の状況

### (1) 奨学事業

新規採用者58名及び学年進行者105名の合計163名に対し、通常の奨学金92,560千円を給与しました。このほか、長引く物価高騰による奨学生の窮状に鑑み、緊急奨学生支援を1月末の在籍者のうち支給対象者156名対し一律30千円、総額4,680千円を給与しました。その状況は表1～表5のとおりです。

#### ① 奨学生の新規採用状況

新規採用については、指定大学30校に対し4月1日から4月21日まで募集を行ったところ、29大学から79名の候補者の推薦がありました。候補者に対して、5月11日から5月31日の間、奨学生選考委員による面接を東京及び大阪の会場で実施し、委員の評価を行いました。その後、6月16日の奨学生選考委員会による選考の結果を受け、同日に開催された書面理事会で6月23日に本年度の新規採用者58名を機関決定しました。

(表1) 令和5年(2023年)度の奨学生数<sup>(注2)</sup>及び奨学金給与額

(単位：名、千円)

区 分	博士課程	修士課程	学部	計
学年進行者	6	24	75	105
新規採用者	1	23	34	58
計	7	47	109	163
奨学金給与額	3,615	28,055	60,890	92,560
緊急奨学金給与額	150	1,320	3,210	4,680
計	3,765	29,375	64,100	97,240

(注1) 給与月額は、45,000円(自宅外者は55,000円)です。博士課程は3年間、修士課程は2年間、学部は2年次から3年間を給与期間としています。括弧書きは自宅外通学者額。

(注2) 休学等により給与を休止等している者を含む。

(表2) 令和5年(2023年)度奨学生数(大学別)

(単位:名)

学 種 大 学	新規採用者				学年進行者				2023年度奨学生合計			
	大学院学生		大学生	計	大学院学生		大学生	計	大学院学生		大学生	計
	博士	修士			博士	修士			博士	修士		
北海道大学		2		2		1	3	4		3	3	6
東北大学			2	2			4	4			6	6
新潟大学		2	1	3		1	2	3		3	3	6
筑波大学		1	2	3	1	1	1	3	1	2	3	6
お茶の水女子大学						1	1	2		1	1	2
東京大学		2	1	3			1	1		2	2	4
東京工業大学			1	1		2	2	4		2	3	5
一橋大学					1		2	3	1		2	3
東京都立大学		1	1	2		1	1	2		2	2	4
慶應義塾大学		1	1	2		1	2	3		2	3	5
上智大学			2	2		1	3	4		1	5	6
中央大学			3	3			5	5			8	8
日本大学		1	1	2			2	2		1	3	4
法政大学		1	1	2			4	4		1	5	6
明治大学		1	2	3		1	4	5		2	6	8
立教大学			3	3			6	6			9	9
早稲田大学		2	1	3	2	2	2	6	2	4	3	9
横浜国立大学		1		1	1	2	1	4	1	3	1	5
名古屋大学	1	1		2		2	2	4	1	3	2	6
名古屋市立大学			1	1			4	4			5	5
京都大学		1	1	2		1	2	3		2	3	5
同志社大学							7	7			7	7
立命館大学		1	1	2		1	3	4		2	4	6
大阪大学			2(1)	2(1)	1(1)		2	3(1)	1(1)		4(1)	5(2)
大阪公立大学 (大阪市立大学)		1		1			1	1		1	1	2
関西大学			3	3			4	4			7	7
神戸大学		2	1	3		1	1	2		3	2	5
関西学院大学			1	1		1		1		1	1	2
広島大学		1	1	2		1	2	3		2	3	5
九州大学		1	1	2		3	1	4		4	2	6
計(30大学)	1	23	34(1)	58(1)	6(1)	24	75	105(1)	7(1)	47	109(1)	163(2)

(注) 括弧内は、留学生数(内数)

(表3) 累計の採用奨学生数(大学別)

(単位:名)

大学名	大学院生		大学生	計
	博士	修士		
北海道大学	34	46	106	186
東北大学	25	36	114	175
新潟大学	6	35	109	150
筑波大学	4	9	7	20
お茶の水女子大学	0	6	9	15
東京大学	28	40	111	179
東京工業大学	31	39	100	170
一橋大学	34	36	98	168
東京都立大学 (首都大学東京)	30	37	108	175
慶應義塾大学	31	39	116	186
上智大学	30	36	117	183
中央大学	3	23	94	120
日本大学	1	6	15	22
法政大学	0	20	82	102
明治大学	0	29	83	112
立教大学	3	21	91	115
早稲田大学	32	41	106	179
横浜国立大学	3	8	9	20
名古屋大学	33	26	108	167
名古屋市立大学	0	1	44	45
京都大学	28	53	106	187
同志社大学	0	19	86	105
立命館大学	0	25	72	97
大阪大学	25	39	96	160
大阪公立大学 (大阪市立大学)	32	41	101	174
関西大学	0	9	81	90
神戸大学	33	38	96	167
関西学院大学	25	35	110	170
広島大学	34	39	100	173
九州大学	27	40	99	166
計	532	872	2,574	3,978

(注) 旧留学生制度による留学生を除く。

② 奨学生修了状況

今年度は、奨学生 57 名（博士課程 4 名、修士課程 22 名、学部 31 名。早期卒業等に伴う修了者を含む。）が修了しました。その状況は、表 4 及び表 5 のとおりです。

(表 4) 令和 5 年(2023 年)度奨学生修了者の就職・進学状況

(単位：名)

区 分	大学院生		大学生	合計	備 考	
	博士課程	修士課程				
(1)就 職	2	12	17	31		
内 訳	一般企業 その他	1	12	17	30	{ 株式会社 24 名 その他 6 名
	大学等 研究機関	1	0	0	1	大学 1 名
	公務員	0	0	0	0	
(2)進 学	0	2	12	14	{ 同大学大学院 12 名 他大学大学院 2 名	
(3)在 学	2	0	0	2	修了 2 名	
(4)その他	0	8	2	10	{ 進路未定 5 名 受験 5 名	
計	4	22	31	57		

(表5) 年度別の奨学生修了者数

(単位：名)

学 種 修了年度	大学院生		大学生	合 計
	博士課程	修士課程		
1976～2018	490	743	2,306	3,539
2019	4	17	33	54
2020	5	21	45	71
2021	9	8	28	45
2022	4	27	32	63
2023	4	22	31	57
計	516	838	2,475	3,829

(注) 辞退者を含み、2013年度までの留学生(旧留学生制度)を除く。

### ③ 奨学金授与式

2023年度(第50回)奨学金授与式は、7月14日(金)午後3時より、「学士会館」(千代田区神田)において、今年度採用の奨学生(58名)、推薦大学の副学長や学生部長、本財団役員、評議員、奨学生選考委員、参与、証券奨学同友会幹事など総勢102名で開催しました。

引き続き開催した懇親会では、奨学生選考委員会委員の藤田誠一先生(神戸大学名誉教授)から乾杯のご発声をいただきました。その後、和気藹々とした交流が持たれました。

#### ○ 式次第

開式	一、 挨拶	理事長	新 芝 宏 之
	一、 挨拶	奨学生選考委員長	藤 原 誠
	一、	奨学生証書授与	
	一、 祝 辞	日本大学 副学長	澤 田 康 広
	一、 謝 辞	奨学生代表 名古屋大学大学院博士課程	遠 山 祥 史
閉式			(敬称略)

#### ④ 奨学生修了式

2023年度（第49回）奨学生修了式は、3月8日（金）午後3時より「学士会館」（千代田区神田）において、今年度修了の奨学生（57名修了）、推薦大学の副学長や学生部長、本財団役員、評議員、奨学生選考委員、参与、証券奨学同友会幹事など総勢94名で開催しました。

引き続き開催した懇親会では、奨学生選考委員会委員の山口隆弘様（山和証券株式会社代表取締役社長）から乾杯のご発声をいただきました。その後、和気藹々とした交流が持たれました。

#### ○ 式次第

開式	一、 挨拶	理事長	新 芝 宏 之
	一、 挨拶	奨学生選考委員長	藤 原 誠
	一、	奨学生修了証書及び記念品授与	
	一、 祝 辞	法政大学 副学長	岩 崎 晋 也
	一、 祝 辞	証券奨学同友会 代表幹事	高 田 とし子
	一、 謝 辞	奨学生代表 早稲田大学大学院博士課程	松 井 希 望
閉式			(敬称略)

#### ⑤ 奨学生推薦大学連絡会

推薦大学の担当者と財団事務局との間で奨学生の支援に関し連携を図るため、3月に奨学生推薦大学連絡会をオンラインで開催しました。

「新年度奨学生募集について」を議題に財団事務局より説明を行うとともに質疑応答の時間を設け情報交換を行いました。

#### ⑥ 奨学生指導関係

民間の財団なるが故に可能とされる「心の通った奨学制度」を目指したいとの思いから、奨学生が所属大学あるいは学部の垣根を越えて互いに交流し合える場として、「奨学生懇談会」を開催しています。

本年度は、10月7日（土）午後1時30分から学士会館（千代田区神田錦町）

において 2023 年度奨学生懇談会を兼ねた「創立 50 周年記念式典（2023 年度奨学生懇談会）」を 4 年ぶりに開催しました。

式典では、主催者を代表して新芝宏之理事長から挨拶を、次いで来賓を代表して理事・奨学生選考委員会委員長の藤原誠様（東京国立博物館館長）からご挨拶をいただきました。続いての「創立 50 周年記念講演」では、本財団元奨学生の隈研吾様（建築家、東京大学特別教授・名誉教授）による講演「僕の仕事の進め方」が行われ、引き続き理事・研究調査助成選定委員会委員長の北川哲雄様（青山学院大学名誉教授・東京都立大学特任教授）と、隈研吾様による対談が行われました。その後、懇親パーティー会場にて「創立 50 周年記念懇親会」を開催し、理事の稲野和利様（株式会社しずおかフィナンシャルグループ取締役）から挨拶・乾杯の発声をいただき歓談が行われました。

なお、当日は、奨学生 135 名、同友会会員 78 名、大学関係者 22 名、財団役員等関係者 29 名の総勢 264 名の皆様にご参加をいただき盛況の中で終了しました。

○ 創立 50 周年記念式典（2023 年度奨学生懇談会）式次第

「創立 50 周年記念式典」

- |    |    |                |      |
|----|----|----------------|------|
| 一、 | 挨拶 | 理事長            | 新芝宏之 |
| 一、 | 祝辞 | 理事・奨学生選考委員会委員長 | 藤原誠  |

「創立 50 周年記念講演」

- |    |    |                         |
|----|----|-------------------------|
| 一、 | 講演 | 僕の仕事の進め方                |
|    |    | 隈研吾                     |
|    |    | 建築家、東京大学 特別教授・名誉教授      |
| 一、 | 対談 |                         |
|    |    | 北川哲雄                    |
|    |    | 青山学院大学 名誉教授・東京都立大学 特任教授 |
|    |    | 理事・研究調査助成選定委員会委員長       |
|    |    | 隈研吾                     |

(敬称略)

## (2) 研究調査助成事業

### ① 研究調査助成金の給付

社会科学の各分野の研究を対象に、大学又は研究機関等において学術の研究調査に従事している個人又はグループに対し、4月1日から6月30日まで募集を行い、申請件数18件、申請総額17,660千円の応募がありました。

9月15日の研究調査助成選定委員会の審査を受け、9月28日の理事会で助成件数8件、助成金総額7,810千円を機関決定し、給付しました。

研究調査助成金の申請状況及び受給者は、表6及び表7のとおりです。

(表6) 研究調査助成金の申請状況

#### イ. 個人・グループ別

(単位：件)

年度	個人	グループ	計
2019	20	11	31
2020	10	4	14
2021	10	10	20
2022	10	7	17
2023	14	4	18

#### ロ. 研究期間

(単位：件)

年度	1年以内	1年超 1.5年以内	1.5年超 2年以内	2年超	計
2019	21	4	4	2	31
2020	11	1	2	0	14
2021	16	2	0	2	20
2022	12	1	3	1	17
2023	14	3	1	0	18

(表7) 2023年度研究調査助成金受給者の一覧

研究代表者	研究調査課題	研究形態	金額 (万円)
神戸大学大学院 経済学研究科 教授 イワツボ ケンタロウ 岩 壺 健太郎	投資信託における個人投資家の銘柄選 択と売買タイミング	個人	100

筑波大学大学院 人間総合科学学術院 准 教 授	オノ ヒロミ 尾 野 裕 美	男性の長期育児休業に関する同僚の不公平感喚起状況	個人	99
慶應義塾大学 商 学 部 教 授	テラニシ ユウキ 寺 西 勇 生	ゼロ金利政策からの出口戦略	個人	100
東洋大学 学 部 准 教 授	ナカニシ ヨシノブ 中 西 善 信	官の無謬性：行政機関が組織学習不全に陥るメカニズムの探索	個人	92
専修大学 学 部 教 授	ハナワ タケオ 塙 武 郎	アメリカ州立大学のレベニュー債の信用力と授業料の償還財源化に関する事例実証研究	個人	100
日本大学 学 部 教 授	ミヤザキ ユウスケ 宮 崎 裕 介	インサイダー取引における規制対象の画定の必要性とそのあり方—アメリカにおける情報受領者の責任論との比較考察を中心に—	個人	100
東京大学 先端科学技術研究センター 特 任 研 究 員	モリ アキコ 森 晶 子	大学と初等中等教育学校とを結び次世代育成教育を推進する教育アウトリーチ・マネジメント人材の育成に向けた研究調査	個人	100
東北大学大学院 法 学 研 究 科 准 教 授	ワキタ マサノリ 脇 田 将 典	証券市場外における支配株式取得に対する法規制	個人	90
—————			8 件	781万円

## ② 研究出版助成金の給付

社会科学の各分野の研究を対象に、大学又は研究機関等において学術の研究調査に従事している個人又はグループに対し、4月1日から6月30日まで募集を行い、申請件数28件、申請総額28,000千円の応募がありました。

9月15日の研究調査助成選定委員会の審査を受け、9月28日の理事会で助成件数10件、助成金総額10,000千円を機関決定し、給付しました。

研究出版助成金の申請状況及び受給者は、表8、表9のとおりです。

(表8) 研究出版助成金の申請状況

### イ. 著作形態

(単位：件)

年度	単著	共著	計
2019	11	0	11
2020	16	0	16
2021	21	1	22

2022	23	2	25
2023	26	2	28

ロ. 印刷部数

(単位：部)

年度	100部未満	100部以上 500部未満	500部以上 1,000部未満	1,000部以上	計
2019	0	2	9	0	11
2020	0	1	9	6	16
2021	0	3	15	4	22
2022	0	2	20	3	25
2023	0	3	25	0	28

(表9) 2023年度研究出版助成金受給者の一覧

出版代表者(著者)	研究出版物タイトル	出版形態	金額(万円)
東北大学大学院 法学研究科 准教授	イシカワ マイ 石川 真衣	組合・会社・社会—フランス会社法 におけるソシエテ概念	単著 100
北海道大学大学院 経済学研究科 准教授	オカノ タイキ 岡野 泰樹	統合報告監査論—サステナビリティ 時代の信頼性保証—	単著 100
東京大学 社会科学研究所 准教授	カトウ シホ 加藤 紫帆	文化財の不正取引と抵触法	単著 100
金沢大学 人間社会研究 域師	クドウ アヤ 工藤 文	中国の新聞管理制度—商業紙はいかに 共産党の権力を受け入れたのか—	単著 100
長野県立大学 グローバルマネジメント学部 准教授	ナカガワ リョウヘイ 中川 亮平	労使関係の組織行動論—従業員の伝 わる声・伝わらない声—	単著 100
東京都立大学 人文社会学部 助教授	ネギシ ユミ 根岸 弓	被虐待児の視点からみる児童虐待対 応法制度—その構想と制度「評 価」の検討	単著 100
京都大学大学院 法学研究科 教授	ハラダ ヒロキ 原田 大樹	公共部門法の組織と手続	単著 100

武蔵野大学 教育学部 教授	マツダ コズエ 松田 こずえ	ノルウェーの幼児教育におけるジェンダー平等と公平性—多様で持続可能な社会へ向けて—	単著	100
神戸大学大学院 経営学研究科 教授	モリムラ フミカズ 森村 文一	ビッグデータ分析能力—ビッグデータ時代のマーケティング組織と意思決定メカニズム—	単著	100
奈良県立大学 地域創造学部 教授	ヨネオカ ヒデマサ 米岡 秀真	公務員による汚職・不祥事—処遇の変化が及ぼす影響—	単著	100
		10件	1,000万円	

### ③ 研究調査助成金・研究出版助成金贈呈式

2023年度研究調査助成金・研究出版助成金贈呈式は、11月20日（月）午後3時より「東京証券会館」（中央区日本橋茅場町）において開催しました。研究調査助成金受給者6名、研究出版助成金受給者6名、役員、評議員、研究調査助成選定委員、奨学生選考委員にご出席いただき、総勢27名で開催しました。

引き続き開催した懇親会では、理事の佐賀卓雄様（公益財団法人日本証券経済研究所名誉研究員）から乾杯のご発声をいただきました。その後、和気藹々とした交流が持たれました。

#### ○ 次 第

開式	一、挨拶	理 事 長	新 芝 宏 之
	一、挨拶	研究調査助成選定委員会 委員長	北 川 哲 雄
	一、助成金給付書贈呈		
	一、研究調査助成金 受給者代表	東洋大学 経営学部准教授	中 西 善 信
	一、研究出版助成金 受給者代表	東北大学大学院 法学研究科准教授	石 川 真 衣
閉式	(敬称略)		

### (3) 証券奨学同友会支援事業

同友会は、本財団の奨学生修了者が奨学生時代に培った相互の信頼関係を維持し、一層深めるため、また会員相互の親睦と協調を図るとともに、本財団の発展

に寄与することを目的として 1977 年 3 月 18 日に設立され、2024 年 3 月末日現在約 4,000 名の会員を有している組織です。

当事業は、この同友会が行う活動を支援するものです。

#### ① 同友会定期総会

今年度の総会と懇親会については、財団が創立 50 周年記念式典を 10 月に開催することとなり、総合的な判断として実施を見送りました。

#### ② 同友会報の編集・発行

例年、会員の活動状況、近況報告等を掲載した「証券奨学同友会報」を発行しています。3 月に同友会関西地区幹事の編集により発刊された同友会報第 49 号に係る編集業務及び同友会員はじめ関係者への配付業務を支援しました。

### (4) その他（財団創立 50 周年記念事業）

#### ① 「創立 50 周年記念式典（2023 年度奨学生懇談会）」の開催

前述のとおり「創立 50 周年記念式典（2023 年度奨学生懇談会）」を開催いたしました。

#### ② 「日本証券奨学財団 50 年史」の編集・発行

創立 50 周年を迎えたことを記念し、本財団の今日までの歩みをまとめた「日本証券奨学財団 50 年史」を作成・発行しました。

「日本証券奨学財団 50 年史」には、創立以後 50 年間の沿革と事業内容をはじめ関係者の皆様によるご寄稿や、直近 20 年間における本財団の主な出来事、また 50 周年特別企画として証券奨学同友会の皆様による座談会「元奨学生から見た財団 50 年の歩み」を掲載しています。

### 3. 総務事項

#### (1) 本財団へのご寄附

今年度は、表 10 のとおり、個人 8 名、法人 34 件の合計 42 件、7,446,920 円のご寄附がありました。

(表 10) 2023 年度の寄附者ご芳名

年月日	御 芳 名	区分	金額 (円)	趣 旨
2023.4.3	三井住友 DS アセットマネジメント株式会社 殿	法人	30,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.4	匿名	法人	30,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.4	三菱HCキャピタル株式会社 殿	法人	30,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.4	みずほリース株式会社 殿	法人	30,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.4	UBS 証券株式会社 殿	法人	30,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.4	株式会社大分銀行 殿	法人	30,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.4	三菱 UFJ 国際投信株式会社 殿	法人	30,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.4	タイガースポリマー株式会社 殿	法人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.4	株式会社大垣共立銀行 殿	法人	10,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.4	匿名	法人	30,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.4	株式会社 ADK マーケティング・ソリューションズ 殿	法人	20,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.5	株式会社だいこう証券ビジネス 殿	法人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.5	西華産業株式会社 殿	法人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.7	匿名	法人	30,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.10	SOMPO アセットマネジメント株式会社 殿	法人	30,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.10	株式会社 QUICK 殿	法人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.10	三重テレビ放送株式会社 殿	法人	100,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.10	株式会社インテリックス 殿	法人	50,000	財団の奨学事業支援のため

年月日	御 芳 名	区分	金額 (円)	趣 旨
2023.4.11	あいおいニッセイ同和損害 保険株式会社 殿	法人	30,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.11	匿名	法人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.11	匿名	法人	30,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.13	日本生命保険相互会社 殿	法人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.18	匿名	法人	30,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.20	アセットマネジメント One 株式会社 殿	法人	30,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.24	一般社団法人 金融財政事情 研究会 殿	法人	30,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.25	大和アセットマネジメント 株式会社 殿	法人	30,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.28	匿名	法人	30,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.28	シークス株式会社 殿	法人	30,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.28	匿名	法人	30,000	財団の奨学事業支援のため
2023.4.28	株式会社カンナート 殿	法人	30,000	財団の奨学事業支援のため
2023.5.24	匿名	個人	100,000	財団の奨学事業支援のため
2023.6.13	山崎 貴博 殿	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2023.6.13	匿名	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2023.6.16	古賀 信行 殿	個人	1,000,000	叙勲受章記念
2023.8.21	堀家 正機 殿	個人	50,000	財団創立 50 周年にあたり、学生 時代の支援への感謝と未来の奨 学生支援のため
2023.9.27	匿名	法人	1,000,000	御財団の育英奨学事業に賛同し て
2023.10.7	橋本 彩 殿	個人	10,000	財団の奨学事業支援のため
2023.11.30	広田証券株式会社 殿	法人	3,000,000	財団の奨学事業支援のため
2023.12.15	匿名	個人	50,000	元奨学生として支援への感謝と 財団の奨学事業支援のため

年月日	御芳名	区分	金額 (円)	趣 旨
2024.1.6	匿名	個人	50,000	元奨学生として、財団の奨学事業支援のため
2024.2.26	匿名	法人	1,000,000	御財団の育英奨学事業に賛同して
2024.3.27	匿名	法人	6,920	財団の奨学事業支援のため

## (2) 理事会、監査会、評議員会、委員会等の開催状況

今年度は、以下の諸会議を開催して所管事項について審議決定しました。

### ① 理事会

開催日	議 題
2023年5月16日	<p>(審議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2022年度事業報告及び収支決算について</li> <li>理事長の交代に伴う新理事長の選定について</li> <li>研究調査助成選定委員会副委員長の辞任及び新委員の選任について</li> <li>評議員会の招集について</li> </ol> <p>(報告事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>理事長及び常務理事の職務執行状況について</li> <li>その他</li> </ol> <p>以上、いずれも原案どおり承認された。</p>
2023年6月16日 (書面)	<p>(審議事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2023年度採用奨学生の決定について</li> </ul> <p>以上、原案どおり承認された。</p>
2023年7月12日 (書面)	<p>(審議事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参与の選任について</li> </ul> <p>(報告事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>理事の辞任に伴う選任について</li> <li>研究調査助成選定委員会委員の辞任に伴う副委員長の選出について</li> </ol> <p>以上、いずれも原案どおり承認された。</p>

開催日	議 題
2023年9月20日 (書面)	(審議事項) 1. 2023年度研究調査助成金受給者の決定について 2. 2023年度研究出版助成金受給者の決定について 以上、いずれも原案どおり承認された。
2023年10月24日 (書面)	(審議事項) ・ 「奨学生選考委員会規程」の改正について 以上、原案どおり承認された。
2023年12月15日 (書面)	(審議事項) ・ 2024年度奨学生の募集について 以上、原案どおり承認された。
2024年2月19日	(審議事項) 1. 第3回緊急奨学生支援(物価高騰対応)について 2. 2024年度資産運用計画について 3. 2024年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて 4. 奨学生選考委員会委員の任期満了に伴う選任等について 5. 研究調査助成選定委員会委員の任期満了に伴う選任等について 6. 2024年度研究調査助成募集要項及び2024年度研究出版助成募集要項について 7. 評議員会の招集について (報告事項) 8. 理事長及び常務理事の職務執行状況について 9. 2023年度奨学生修了者の就職・進学状況について 10. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。
2024年3月19日 (書面)	(審議事項) ・ 顧問及び参与の選任について 以上、原案どおり承認された。

② 監査会

開催日	議 題
2023年5月8日	<p>(審議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2022年度の事業及び財務の状況について</li> <li>2. 2022年度事業報告書及び収支決算書について（監査実施）</li> <li>3. 監査報告書の承認について</li> </ol> <p>以上、監査した結果、2022年度事業報告書及び収支決算書は、適法かつ正確であると承認された。</p>

③ 評議員会

開催日	議 題
2023年6月19日	<p>(審議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2022年度収支決算について</li> <li>2. 評議員の任期満了に伴う評議員の選任等について</li> <li>3. 評議員会議長の選定について</li> <li>4. 理事の辞任に伴う新理事の選任について</li> <li>5. 新理事長の報酬月額について</li> </ol> <p>(報告事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>6. 2022年度事業報告について</li> <li>7. 理事長の交代に伴う新理事長の選定について</li> <li>8. 研究調査助成選定委員会副委員長の辞任及び新委員の選任について</li> <li>9. その他</li> </ol> <p>以上、いずれも原案どおり承認された。</p>
2024年3月13日	<p>(審議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2024年度理事長等の報酬年額について</li> <li>2. 2024年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて</li> </ol> <p>(報告事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3. 第3回緊急奨学生支援（物価高騰対応）について</li> <li>4. 2024年度資産運用計画について</li> </ol>

開催日	議 題
	5. 奨学生選考委員会委員の任期満了に伴う選任等について 6. 研究調査助成選定委員会委員の任期満了に伴う選任等について 7. 2024 年度研究調査助成募集要項及び 2024 年度研究出版助成募集要項等について 8. 2023 年度奨学生修了者の就職・進学状況について 9. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。

#### ④ 委員会

##### 1) 奨学生選考委員会

開催日	議 題
2023 年 6 月 16 日	(審議事項) 1. 2023 年度奨学生の選考について 2. 意見交換 3. 今後のスケジュール 以上、いずれも原案どおり承認された。
2023 年 12 月 1 日 (書面)	(審議事項) ・ 2024 年度奨学生の募集について 以上、原案どおり承認された。

##### 2) 研究調査助成選定委員会

開催日	議 題
2023 年 6 月 30 日 (書面)	(審議事項) 1. 研究調査助成選定委員会副委員長の互選について 2. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。
2023 年 9 月 15 日	(審議事項) 1. 2023 年度研究調査助成金受給者の選定について 2. 2023 年度研究出版助成金受給者の選定について

開催日	議 題
	3. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。
2024年1月25日 (書面)	(審議事項) 1. 2024年度研究調査助成の募集について 2. 2024年度研究出版助成の募集について 3. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。

### 3) 資産運用委員会

開催日	議 題
2023年10月23日	(審議事項) 1. 2023年度資産運用状況について 2. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。
2024年2月6日	(審議事項) 1. 2023年度資産運用状況について 2. 2024年度資産運用計画(案)について 3. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。

### (3) 役員、評議員、委員の異動状況

今期は、以下の役員、評議員、委員の異動がありました。

#### ① 役員・評議員

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2023年7月1日 (理事会)	(就 任) 理事長 新 芝 宏 之 (岡三証券グループ取締役社長)

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2023年6月30日 (理事会)	(辞 任) 理事長 稲 野 和 利 (引き続き理事として留任)
2023年6月19日 (評議員会)	(再 任) 評議員会 内 藤 誠二郎 議 長 (内藤証券 取締役会長)  評議員 宇 野 勝 博 (大阪大学 名誉教授)  評議員 岡 地 敏 則 (岡地証券 取締役会長)  評議員 清 水 啓 典 (一橋大学 名誉教授)  評議員 中 島 隆 博 (東京大学 教授)  (就 任) 評議員 近 藤 勝 義 (QUICK 取締役会長)  評議員 武 川 正 吾 (明治学院大学 教授)  評議員 森 田 敏 夫 (日本証券業協会 会長)  (退 任) 評議員 古 賀 信 行 (野村ホールディングス 名誉顧問)

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
	<p>評議員 庄 司 興 吉 (東京大学 名誉教授)</p> <p>評議員 前 田 昌 孝 (マーケットエッセンシャル 主筆)</p> <p>評議員 森 本 学 (日本証券業協会 副会長)</p>
2023年6月18日 (評議員会)	<p>(辞 任)</p> <p>理 事 森 田 敏 夫 (日本証券業協会 会長)</p>
2023年7月3日 (評議員会)	<p>(就 任)</p> <p>理 事 岳 野 万里夫 (日本証券業協会 副会長)</p>

② 研究調査助成選定委員会

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2023年5月16日 (理事会)	<p>(就 任)</p> <p>委 員 田 淵 六 郎 (上智大学 教授)</p>
2023年6月18日 (理事会)	<p>(辞 任)</p> <p>副委員長 武 川 正 吾 (明治学院大学 教授)</p>
2023年7月7日 (委員会)	<p>(就 任)</p> <p>副委員長 山 下 友 信 (東京大学 名誉教授)</p>

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2024年3月31日 (理事会)	<p>(退 任)</p> <p>副委員長 山 下 友 信 (東京大学 名誉教授)</p> <p>委 員 忽 那 憲 治 (神戸大学大学院 教授)</p>

③ 資産運用委員会

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2023年4月1日 (理事会)	<p>(再 任)</p> <p>委 員 上 山 毅 弘 (三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 執行役員)</p> <p>委 員 加 藤 康 之 (京都先端科学大学 教授)</p> <p>委 員 木 元 大 祐 (みずほ証券株式会社 執行理事)</p> <p>委 員 新 堂 尚 紀 (SMBC日興証券株式会社 理事)</p> <p>委 員 中 澤 嘉 謙 (大和証券株式会社 執行役員)</p> <p>委 員 平 岡 徹 也 (野村証券株式会社 執行役員)</p>

④ 顧問・参与

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2023年6月19日 (理事会)	(就 任) 参 与 庄 司 興 吉 (東京大学 名誉教授)

#### (4) 資産運用への取組み

##### ○ 資産運用の基本方針

定款及び資産運用管理規程に則り、資産価値の維持を図ることを旨とし、事業目的の遂行に資するため、最善と考えられる方法により、安定性、継続性及び収益性に配慮した資産運用を行います。

##### (i) 資産運用状況

資産運用計画（中期計画及び2023年度計画）の基本ポートフォリオにおける各資産クラスの割合を維持するために、保有する金融商品5億円（基本財産）の売却と今年度の償還金0.4億円（基本財産）および前年度からの繰越資金と合わせて6億円の買付けを行いました。

売却の内訳は、基本財産として、国内株式に分類するETF2.5億円、国内REIT2.5億円でした。また、買付の内訳は、基本財産として、国内債券に分類するETF5億円、国内REIT1億円でした。なお、事業安定積立資産としての買い付けは行いませんでした。

##### (ii) 次年度の資産運用計画

2024年度は、2023年度に作成した中期資産運用計画に基づき、基本ポートフォリオにおける各資産クラスの配分を注視し、必要に応じて安定性、継続性及び収益性に配慮しつつ資産の再配分（リバランス）を行います。

## 事業報告の附属明細書

公益財団法人 日本証券奨学財団

※ 事業報告に対する附属明細書はありません。

## II 財務諸表等

### 1. 財務状況の概要

#### (1) 資産の状況

「貸借対照表」(2024年3月31日現在)において、資産総額は、8,666,751千円となり、また負債総額は、9,888千円となりました。資産総額から負債総額を差し引いた正味財産総額は、8,656,863千円となりました。

#### (2) 正味財産の増減状況

- ① 一般正味財産期末残高は一般正味財産期首残高に一般正味財産増減額616,423千円を加算した結果、6,405,855千円となりました。
- ② 指定正味財産期末残高は、指定正味財産期首残高に当期指定正味財産増減額172,177千円を加算した結果2,251,007千円となりました。
- ③ 以上により、期末(2024年3月31日現在)の正味財産期末残高は、8,656,863千円となりました。

## 資料編

### ○ 役員・評議員・委員等名簿

令和6年(2024年)3月31日現在(50音順・敬称略)

#### 役員

理事長	新 芝 宏 之	株式会社岡三証券グループ取締役社長
常務理事	松 永 秀 昭	
理事	稲 野 和 利	株式会社しずおかフィナンシャルグループ 取締役
	神 作 裕 之	学習院大学大学院教授
	北 川 哲 雄	青山学院大学名誉教授・東京都立大学特任教授
	佐 賀 卓 雄	日本証券経済研究所名誉研究員
	岳 野 万里夫	日本証券業協会副会長
	武 樋 政 司	いちよし証券株式会社取締役会長
	藤 田 誠 一	神戸大学名誉教授
	藤 原 誠	東京国立博物館館長
監 事	石 井 登	立花証券株式会社取締役会長
	梅 原 知 彦	共和証券株式会社取締役社長
	菅 原 和 信	菅原和信公認会計士事務所公認会計士

#### 評 議 員

評議員会議長	内 藤 誠二郎	内藤証券株式会社取締役会長
評 議 員	宇 野 勝 博	大阪大学名誉教授
	岡 地 敏 則	岡地証券株式会社取締役会長
	近 藤 勝 義	株式会社QUICK特別顧問
	清 水 啓 典	一橋大学名誉教授
	武 川 正 吾	明治学院大学教授
	中 島 隆 博	東京大学教授
	森 田 敏 夫	日本証券業協会会長

## 委 員

### 奨学生選考委員会

委員長	藤原誠	東京国立博物館館長
副委員長	小林康夫	東京大学名誉教授
委員	伊達悦朗	大阪大学名誉教授
	廣瀬克哉	法政大学総長
	廣田元孝	広田証券株式会社取締役会長
	藤田誠一	神戸大学名誉教授
	宮島司	慶應義塾大学名誉教授・朝日大学教授
	向山敦夫	大阪公立大学大学院教授
	山口隆弘	山和証券株式会社取締役社長

### 研究調査助成選定委員会

委員長	北川哲雄	青山学院大学名誉教授・東京都立大学特任教授
副委員長	山下友信	東京大学名誉教授
委員	柿崎環	明治大学教授
	忽那憲治	神戸大学大学院教授
	田渕六郎	上智大学教授
	中野勉	青山学院大学大学院教授
	鍋島直樹	名古屋大学大学院教授
	野村容康	獨協大学教授
	松田千恵子	東京都立大学大学院教授

### 資産運用委員会

委員長	上山毅弘	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社執行役員
委員	加藤康之	京都先端科学大学教授
	木元大祐	みずほ証券株式会社執行理事
	新堂尚紀	SMBC日興証券株式会社理事
	中澤嘉謙	大和証券株式会社常務執行役員
	平岡徹也	野村證券株式会社執行役員

顧問

佐々木 正 峰 国立科学博物館顧問

参与

田 中 素 香 東北大学名誉教授

入 木 雅 和 前常務理事

藍 澤 基 彌 アイザワ証券株式会社相談役

須 藤 時 仁 獨協大学元教授

渡 部 亮 法政大学名誉教授

庄 司 興 吉 東京大学名誉教授